

令和2年度第3回彦根市環境審議会の概要

日時：令和3年(2021年)1月19日(火)午前10時00分から午前11時25分まで

場所：彦根市民会館 2階 第3会議室

会議内容

●開会

●議題

第3期彦根市環境基本計画および地域行動計画(素案)について

●令和2年度第2回環境審議会意見への対応について

- 第2期計画では、目標の前に、彦根市の現状と課題を説明する章がある。第3期計画でも、現状と課題の章があるとわかりやすいとの意見から、環境・社会の現状と課題の節を加えました。
- 基本目標とSDGsとの関連について、「基本目標1 人・自然・文化が調和するまちづくり」と結びつけるSDGsールに、SDGs14「海の豊かさを守ろう」を追加した。
- 「基本目標2 安全・安心を実感できる快適なまちづくり」の数値指標に、「ホテルの確認場所数」があるが、施策の中にホテルという言葉がないとの意見から、ホテルと生活環境の関わりの説明として、「ホテルの生育状況について、環境保全指導などと連携してモニタリングを行い、水辺環境の保全に努めます」と記載した。
- 「基本目標3 水や資源の循環が進んだまちづくり」に、近年多発する大型台風や豪雨で発生する災害ごみについて、基本目標3の関連計画に、彦根市災害廃棄物処理計画を追記した。
- 「基本目標4 未来の地球を守るためのまちづくり」の「市域の温室効果ガス排出量」について、国の施策を踏まえて今後見直しを上げるとの意見から、「市域の温室効果ガス排出量に関する目標については、国や県の動向を図ることとし、必要に応じて見直しを行う」と記載した。

●数値目標について

- 基本目標1 の数値目標「外来種の駆除数(県との連携含む)・外来性植物等の駆除箇所数」は、「ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイの生育箇所数」の基準値を10箇所から20箇所に、目標値を20箇所から、0箇所(生育箇所無しが目標)に変更した。
- 基本目標1 の「文化財の保存と活用数」は、「歴史まちづくり件数(27件)」から「歴史的なまちなみを形成する城下町、宿場町などの建造物の件数(49件)」に変更し、目標値を52件にした。
- 「レンタサイクルの利用台数」については、地球温暖化の緩和策の推進と関連付けるため、「基本目標4 未来の地球を守るためのまちづくり」の関連指標とした。
- 同じ、基本目標4の 緩和策の推進の関連指標に「彦根城パークアンドバスライド」を追加した。
- また、基本目標4の 適応策の推進の関連指標に「自主防災組織カバー率」を追加した。
- 同じ、基本目標4の 適応策の推進の関連指標としていた「新たに特定間伐促進計画で定めた森林の間伐実施率」は、適応策として災害に強い森林づくりとの観点で扱えないため、削除した。

委員からの主な意見

⊗数値指標の基準値、目標値の数値の単位に、年当りの箇所がある。例えば、外来種の駆除数、ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイの生育箇所が、年に10箇所とあるが、現状10箇所なら、見直した方がいい。

→意見のとおり修正します。

⊗その10箇所ということについて、年によって増えたり減ったりする、箇所数を入れるはどうか。0箇所を目標に、生育箇所がないようにする目標はいいと思う。

→意見を踏まえ見直します。県の担当課に照会して記載を整えます。

⊗環境にやさしい消費の推進で、買い物で環境にやさしいという視点で商品やお店を選ぶことを「グリーン購入」といい、・・・と続く文章は、グリーン購入を説明するより、製品やサービスを選ぶ際にその必要性を考えて、環境に負荷のかからないものを購入するという表現にしてはどうか。

→意見のとおり修正します。

⊗二酸化炭素の吸収源となる樹林地や公園、緑地などのみどりを保全するとともに、という記述に、加えて、森林整備の推進、木材の利用の促進を記述するべき。

→県産材の利用を進めることを記述します。

⊗数値指標、外来種の駆除数(県との連携を含む)で、市の取組を書くべきところに、県の取組が書かれているがどうか。

→県担当課に照会して記載を整えます。

⊗計画の推進 推移体制の図示で、市民、事業者、市民団体、学校教育機関の参加、情報提供が、市役所でなく、審議会に矢印が繋がるのは奇妙です。市役所に繋がるようにするべき。

→意見のとおり修正します。

・今後のスケジュールについて

⊗本日の審議会は、意見公募前のとりまとめの会議として開催しました。

本日の意見と、欠席委員の意見を併せて修正します。

そのうえで、第3期彦根市環境基本計画および地域行動計画(素案)の答申とします。

⊗閉会